

育児パパ増やしたい

「ファザーリング・ジャパン九州」

育児を楽しむ父親を増やしたい。その願い活動を行っている任意団体「ファザーリング・ジャパン九州」(FJQ、福岡市)の絵本ライブをのぞいてみた。発足して半年がたち、「読み聞かせもうまくなりました」とメンバー。臨場感たっぷりのイクメンライブに、子どもたちの笑みがはじけた。【松本光史】

10月24日、福岡市早良区で絵本の読み聞かせなどを行っている「おやこほっこ」で開かれた絵本ライブ。小津留一さん(38)らFJQの3人はいつの間にかエフロン姿に変身し、持ち込んだ絵本約20冊を空のギターケースに並べた。あいにくの雨にもかかわらず続々と集まってくる子どもたち。「小学生以下が多いよね」「分かりやすい本がいいかも」。

「仕事を休んで稼いだけがパパではありません。小津さんのあい

絵本ライブなどでPR

さつで絵本ライブが始まった。声色を変えながら子どもたちの突っ込みにもアドリブで応えるパパ軍団。子どもたちの目は絵本に引き付けとなり、笑い声がライブを盛り上げる。

3人が交代で計6冊の読み終えて最後の1冊。ストーリーに沿った歌をギターの生演奏付きで披露し、全員参加の大会唱で約50分のライブが幕を閉じた。

高木美穂子さん(52)は「体力面や精神面で女性ではフォローできない子育てがあり、夫い」と話した。

梅りんぐリストで父親同士のつながりも

FJQはNPO法人「ファザーリング・ジャパン」(東京都)の九州メンバーで今年4月に発足。絵本ライブやセミナーなどで父親の育児参加をPRする。同市が意見交換するメーリングリスト「九州パパネットワーク」も開設しており、会員は約30人まで増えた。

「だいぶ知名度も増してきました」と語る小津さんには幼い時に両親が離婚し、母一人に育てられた原体験がある。「家事一つしなかった父は反面教師。さらに、共働きしている夫婦が増える今の時



パパたちの絵本ライブの世界に子どもたちの目も輝く



ギターケースにずらり並べられたパパ持参の絵本



代は「家事と育児は女と自分で時間をつくる性」だった昔とは違う方法もある」と応じた小津さん。それが小津さん原動力だ。

「仕事でなかなか帰れない。育児したいけどできない環境がある」。父親同士のつながりが広がる中で、FJQの活動が本格化する。

FJQの問い合わせは、事務局090・88307・2626。

ブックエンド

『海の島』ステフィとネッリの物語
アニカ・トール／著
菱木晃子／訳 新宿書房



ナチスのユダヤ人迫害からスウェーデンに逃れた姉妹を描く

第二次世界大戦時、ナチスのユダヤ人弾圧という「アンネの日記」が有名ですが、この本はオーストリアの裕福な家庭に育ったステフィとネッリ姉妹が、ユダヤ人迫害から逃れるため親元を離れスウェーデン西部の小さな島に移住し、成長していくお話です。「海の島」は4部作の1作目で、言葉も通じない、宗教も違う、そんな心細い状況の中、姉妹が移住してからの1年間が描かれています。

スウェーデン政府が500人のユダヤ人の子どもを受け入れたことなど、大戦中の様子もわかります。また、スウェーデンの豊かな自然が背景にあり、行ってみたいくなる一冊です。福岡市総合図書館から

新着本

- ★パンとベン〜社会主義者・堺利彦と「売文社」の闘い〜 黒岩比佐子著／講談社
- ★ギターとたくあん〜堀威夫流不良の粹脈〜 村松友視著／集英社
- ★人はひとりで生きていけるか〜「大衆個人主義」の時代〜 小浜逸郎著／PHP研究所
- ★理科系冷遇社会〜沈没する日本の科学技術〜 林幸秀著／中央公論新社
- ★いのちの一句〜がんと向き合う言葉〜いのちの歳時記編集委員会著／毎日新聞社